

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 萩原農園】

2026年
9月17日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稻において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 萩原農園（山形県東置賜郡高畠町）

経営概況（2026年9月時点）

経営規模：水稻13ha、大豆13ha

従業員数：5名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



萩原農園の皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

弊社ではドローンや自動操舵装置を活用し、精度の高い農業生産を目指し営農してきました。この認定を機会として、今後も進歩する技術を持続的な農業生産の一助にしていければと思います。